



福祉介護・共同送迎サービス

ゴイッショ

ダイハツ工業株式会社
新規事業戦略室



Chapter
01

会社概要





法人名	ダイハツ工業株式会社
設立年月	1907年3月
所在地	大阪府池田市ダイハツ町1番1号
資本金	284億円
従業員数	12,426名（2022年4月1日現在）
拠点	国内主要事業所13ヶ所 海外生産拠点3ヶ所
事業内容	軽自動車・小型自動車・その他自動車の設計開発、製造及び販売を中心とした事業を行っており、トヨタグループの一員として国内、海外、受託・OEMの三事業を柱としております。



国内

スモールカーのリーディングカンパニーとして、「低燃費」「低価格」「省資源」を追求



海外

主力市場のインドネシアとマレーシアで“e:Sテクノロジー”を展開



受託・OEM

これまで培ってきた開発力を活かしOEMビジネスを拡大

多くの軽福祉車両をラインナップし、お客様へご提供

車いす移動車



回転シート



昇降シート車



1995年より軽福祉車両をラインナップ
現在は福祉車両7車種を展開



福祉介護事業向け
送迎支援システム
らくぴた送迎

福祉介護・共同送迎サービス
ゴイッショ



01

2015

福祉介護分野の
専属チーム発足

介護現場への訪問活動
▼
送迎業務の課題に着目
課題解決を検討

02

2018

送迎支援システム
「らくぴた送迎」
販売開始

システムにより
個別施設の送迎業務の
効率化をサポート

03

2019

地域全体を視野に
更なる課題解決を
検討開始

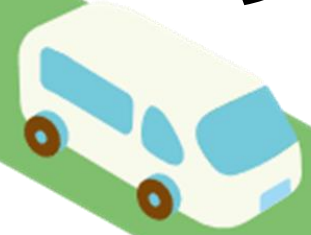
自治体と連携し
福祉介護領域における
新しい仕組みを検討

04

2022

4月22日
福祉介護・
共同送迎サービス
「ゴイッショ」
販売開始

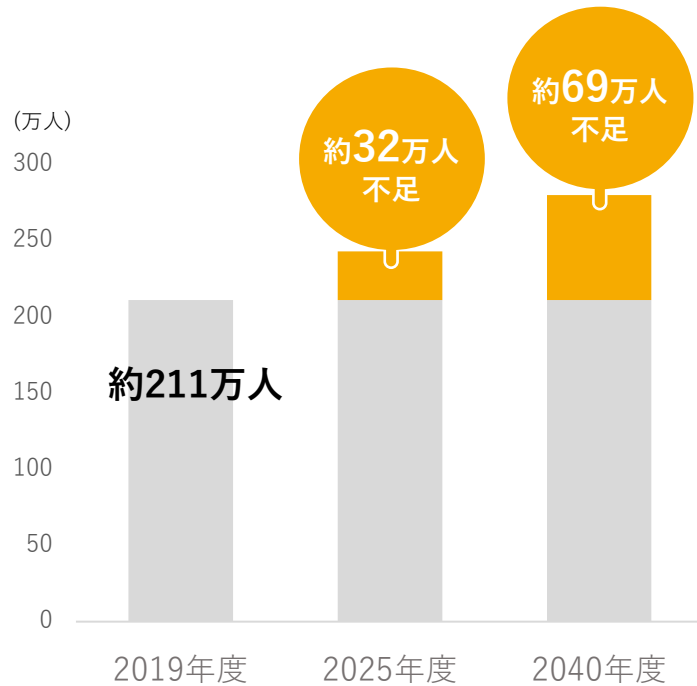
Chapter
02



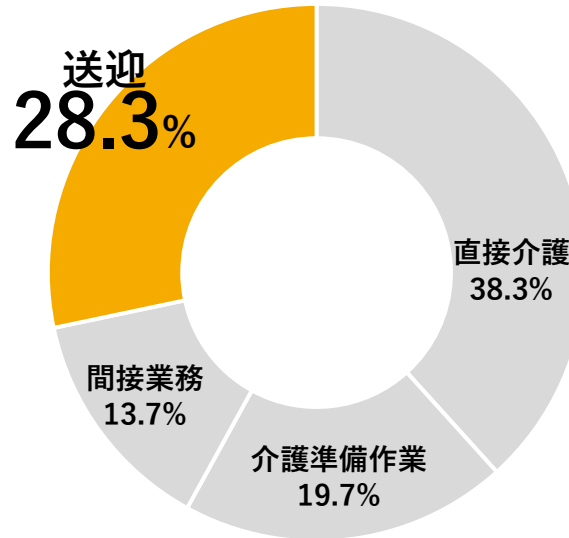
ゴイ ツシ ヨ の 概要

今後の介護人材不足が更に進むことが想定されています
通所型施設の現場では送迎は大きな業務負担となっています

介護職員の必要数

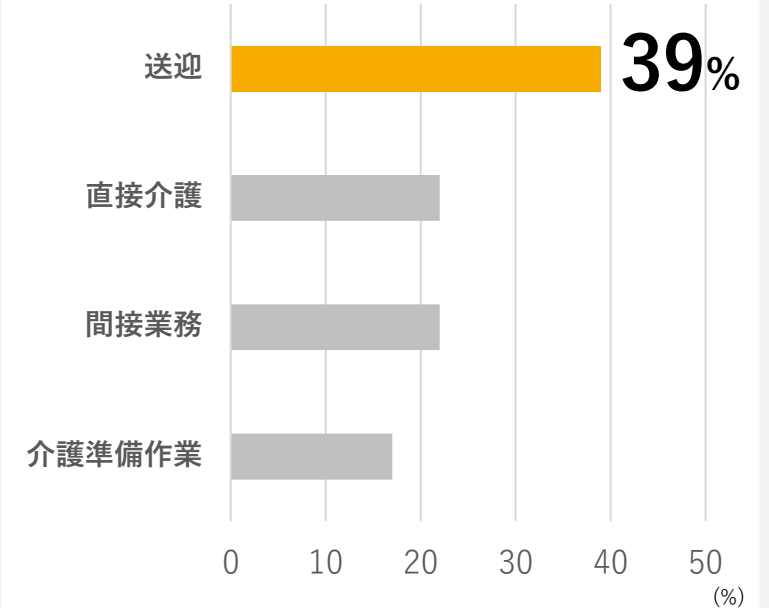


介護現場における業務割合



【出典】
経済産業省 経済産業政策局 産業構造課
「将来の介護需要に即した介護サービス提供に関する研究報告書」(2016年)

介護職員が負担に感じる業務



※2020年ダイハツ調べ

「送迎」を起点として、現場の業務負担の改善、 人材不足の解消に繋がる新たなサービスモデルを検討

解決策 01



介護現場から送迎業務を切り離すことで
介護職員の負担軽減に繋がる

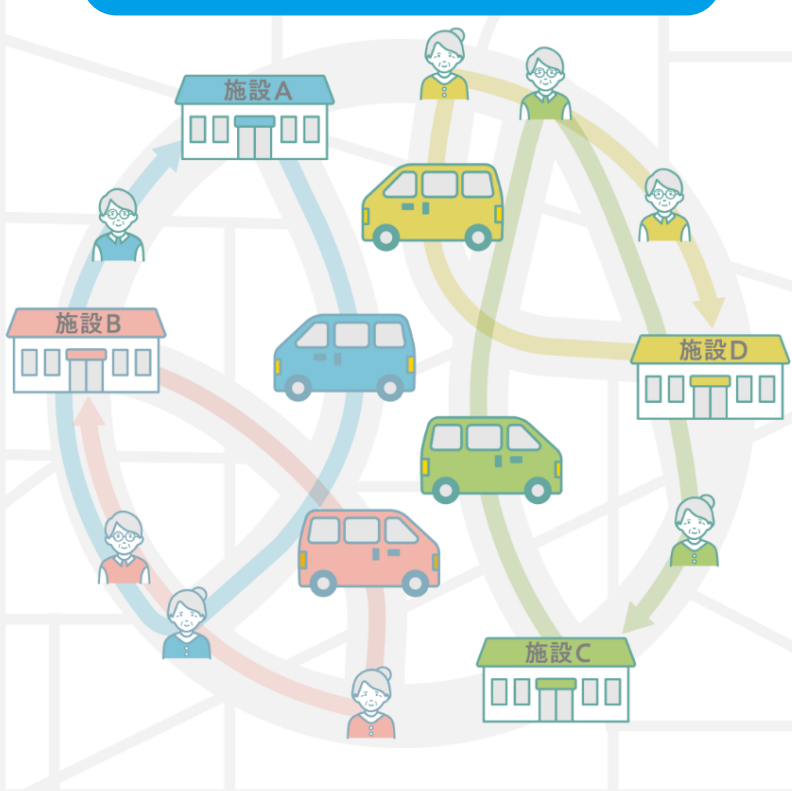
解決策 02



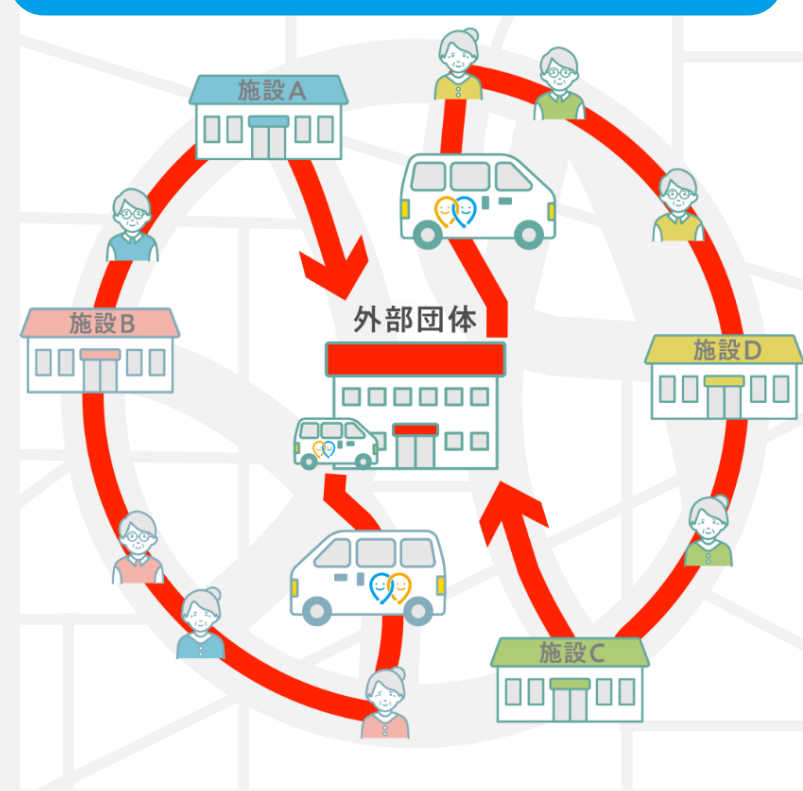
送迎を地域一体で共同化することで
送迎業務の更なる効率化ができる
さらに送迎を行っていない時間帯での
車両の有効活用ができるのではないか

共同送迎サービスとは、介護事業所が単独で行っている送迎業務を外部の団体に集約し、地域一体で共同運行するサービスです

施設ごとに送迎



共同運行で送迎ルートをも最適化



各施設の送迎業務を共同送迎運営団体へ外部委託できる環境を構築
効率的な運行で従来より負荷の小さい送迎委託を実現します



～共同送迎を移動のプラットフォームに～
 介護送迎のアセットをフル活用し、地域の移動課題解決を目指す



ゴイッショが「冬のDigi田甲子園」でベスト4に選出

「冬のDigi田甲子園」において全国172事例の応募の中から、
有識者による審査及び国民によるインターネット投票を経て、「ベスト4」に選出



提供：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

Digi田甲子園とは？

「Digi田甲子園」は、デジタル田園都市国家構想の一環として、デジタルの活用により地域の個別課題を解決し、住民の暮らしの向上や地域の産業振興につながっている取組みを対象に、有識者による審査及び国民によるインターネット投票により内閣総理大臣賞などが表彰されるものです。

令和4年度デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)の採択事例

デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の 交付対象事業の決定について

令和5年3月10日
内閣府地方創生推進室
デジタル庁

令和4年度第2次補正予算デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）
の交付対象事業について、以下のとおり決定した。

三重県	名張市	会議録公開迅速化事業	258
三重県	名張市	電子カルテリモート診療システムの導入事業	1,325
三重県	名張市	特定健診・薬歴参照サービス	539
三重県	名張市	基本スケジュール導入事業	659
三重県	亀山市	アプリdeウェルネス推進事業	4,194
三重県	いなべ市	母子健康手帳アプリの活用による小児予防接種・乳幼児健診デジタル化事業	7,466
三重県	いなべ市	高齢者デジタルライフ・ITホール	16,450
三重県	いなべ市	高齢者デジタルライフ・AI共同送迎	15,180
三重県	いなべ市	高齢者デジタルライフ・モバイルクリニック	12,588
三重県	志摩市	オンライン手続きの拡充による住民サービスの向上	900
三重県	伊賀市	公共施設予約のオンライン化	7,176
三重県	伊賀市	税務証明コンビニ交付サービス導入事業	9,892
三重県	木曽岬町	統合型・公開型GIS構築事業	2,307
三重県	東員町	クラウド型被災者支援システムを活用した地域の安全性向上	1,501

出展：デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の交付対象事業の決定について / 内閣府地方創生推進室・デジタル庁
https://www.chisou.go.jp/sousei/about/mirai/pdf/dejidenkoufukin_saitaku.pdf

この他にも様々な補助・助成事業を活用して検討を進められている自治体様がございます

Chapter
03

導入事例の紹介



2019年 嬉しさ・効果を確認するため、三豊市と活動開始

香川県三豊市

人口	: 6.3万人
通所介護施設数	: 40施設
利用者数	: 800人/日
送迎車両台数	: 200台
送迎に関わる職員数	: 300人以上/日



2019年 連携協定を締結

資料1

2019

調査

実施内容

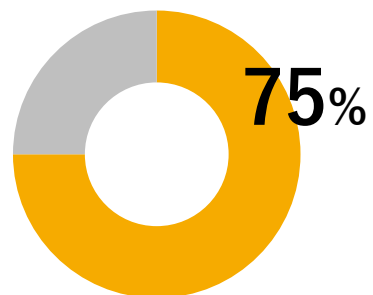
地域のニーズ確認

推進体制

三豊市とダイハツの
共同で実施



40施設中30施設が賛同



2020

実証事業①

実施内容

送迎の共同化 + 買い物・
通院同行支援

運営・運行

三豊市社会福祉協議会



嬉しさと効果の確認



2021

実証事業②(プレ運行)

実施内容

送迎の共同化 + 弁当配達

運営・運行

三豊市社会福祉協議会
交通事業者へ委託



本番運行に向けた
ノウハウの獲得・蓄積



本格運行

実施内容

送迎の共同化

運営・運行

三豊市社会福祉協議会
交通事業者へ委託



2022年6月6日
有償化がスタート



事業登録施設

3事業

登録利用者

80名

送迎人数

23～28名/日

登録車両

6台(白ナンバー車)

ドライバー

6人(地域のシニア)

三豊市内

面積 224㎡

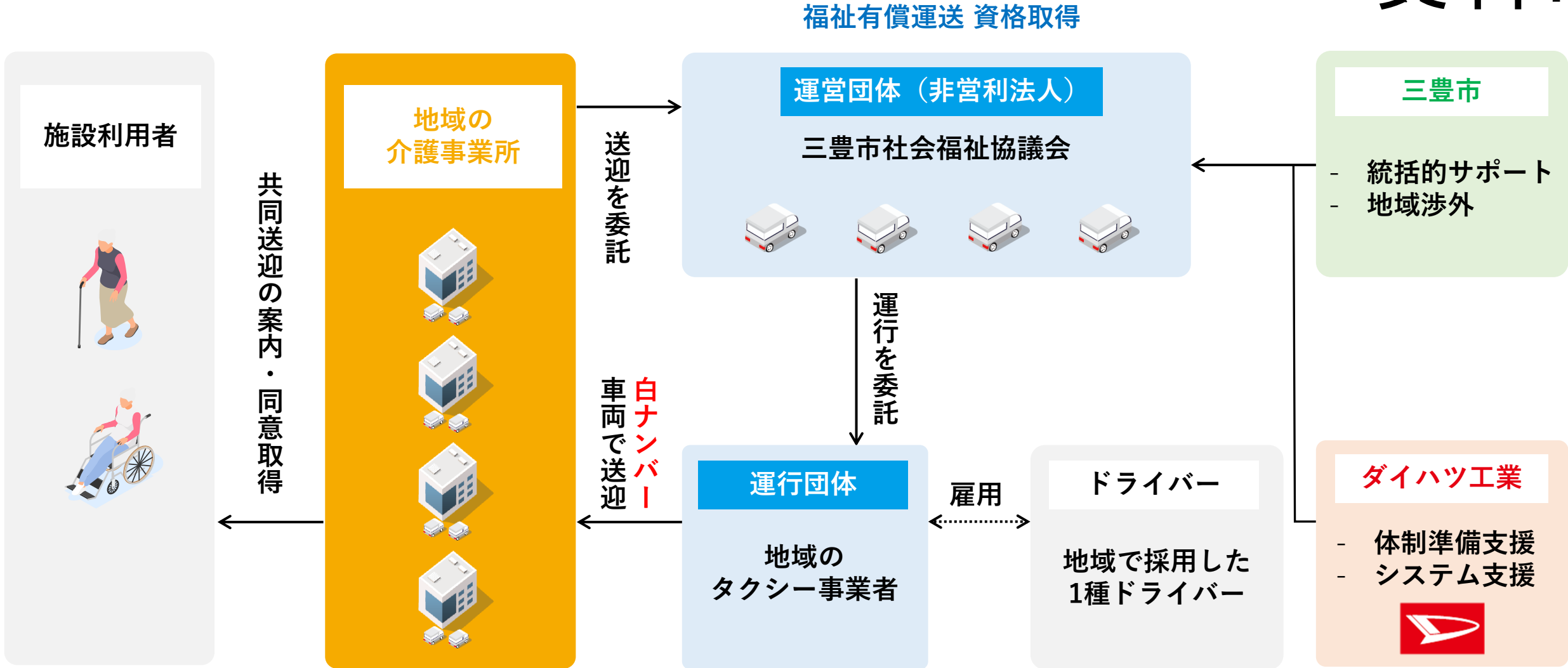
デイサービス 41施設

次期拡大
予定エリア

現事業エリア
13×10 km 範囲

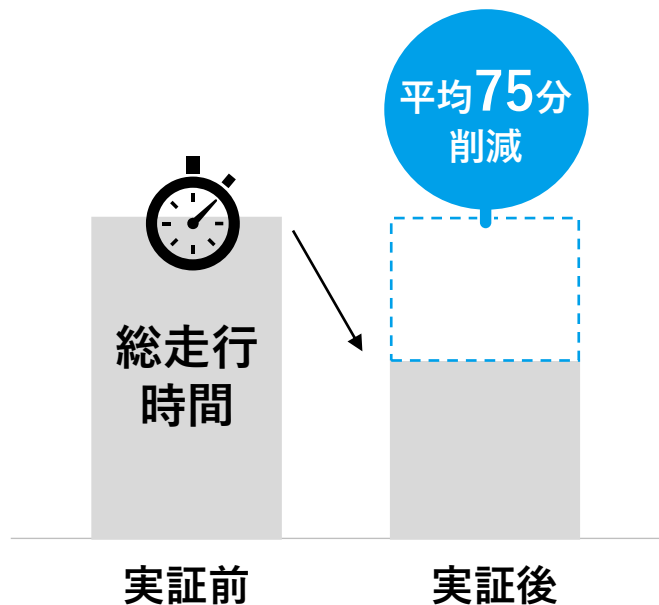
運行団体

運営団体



送迎の外部委託化 + 共同化による嬉しさ・効果を確認

送迎業務を削減



※令和3年度実証結果

介護現場での負担軽減

93%

が負担軽減を実感

- 夕方の掃除効率UP
- 朝の受け入れ効率UP
- 事務作業ができた

※令和3年度実証結果

地域全体での送迎を効率化

20%

削減



※令和2年度実証結果

ゴイッショは、事業成立後に自治体へかかるコスト・業務の負担が少なく、負担を抑えながら、地域の課題解決に取り組むことが可能です

01



介護事業者の業務負荷や採用ハードルの低減に繋がり、地域の「介護人材不足」の解決策の一つとして期待できます。



人材不足解消の手段

02

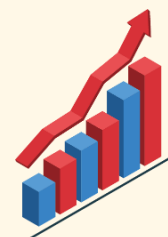


ゴイッショのドライバーは第一種運転免許者が担うことができるため、アクティブシニアの就労支援として期待できます。



就労支援への寄与

03



ゴイッショは介護事業所からの委託収入により、運営団体単独での事業採算確保を目指す事業モデルです。そのため自治体の手を離れた後も自主事業として継続していくことが期待できます。



継続可能な独立事業

04



自治体の費用・業務負担を抑えながら地域住民・介護事業者の満足度向上、SDGsへの取り組みを行うことができ、地域内外へのシティプロモーションに繋がります。



SDGsの推進

Chapter
04

実現に向けた課題



施設送迎よりも関係者が増えることで、
送迎業務がさらに複雑化し、人の手では困難

施設送迎

共同送迎

情報連携が複雑化



複数の施設、運営する団体、
ドライバーとの
情報連携が必要

計画作成が困難



複数の施設、利用者の
希望時間や移動にかかる時間を
考慮した計画作成が必要

介護職員の送迎業務に関する悩み・苦勞が顕在化しづらく 必要性や導入効果がイメージしづらい

“

送迎は負担が大きく気が抜けないが、送り届けるまでが介護サービスだから、やるのが当たり前。



“

現場レベルでは人手不足だからとか送迎が困っているからといって自治体に相談するという考えには至らない。採用もできないし、サービス持続に危機感がある。



“

送迎業務の負担は大きいですが、外部委託はコストが高いし解決策はないと諦めている。



Chapter
05

サポート内容



特徴

送迎業務が複雑化し、
人の手では困難



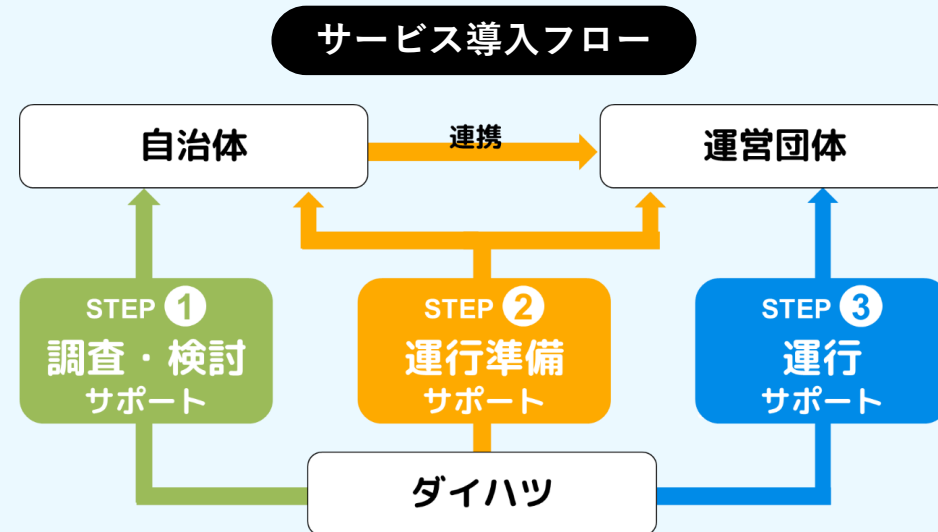
- ☑ 複雑かつ相反する送迎ニーズをすり合わせる介護送迎専用のアルゴリズムを搭載したシステムをご提供



送迎業務に関する苦勞が
顕在化しづらく、
必要性や導入効果が
イメージしづらい



- ☑ 介護送迎に特化した人材が「調査・検討」から「運行」までを一貫してサポート



地域に必要とされるサービスなのか を自治体とご一緒に検討

期間
3か月間

STEP 1
調査・検討
サポート

STEP 2
運行準備
サポート

STEP 3
運行
サポート

- ☑ 介護施設を直接訪問し、ヒアリング
- ☑ 課題の見える化と、送迎共同化による効果シミュレーション
- ☑ 送迎コスト（一回の送迎に掛かる費用）の算出
- ☑ 調査・検証結果の報告書作成、各所報告
- ☑ ステップ2への移行判断支援
- ☑ 実証実験の企画・推進・検証支援（オプション）



共同送迎が適正に運行できる環境・

体制づくりを一緒に推進

期間
6か月間

STEP ①
調査・検討
サポート

STEP ②
運行準備
サポート

STEP ③
運行
サポート

- ☑ 運行開始に向けたロードマップ・収支計画策定支援
- ☑ 運営フロー、マニュアル化構築支援
- ☑ ドライバー研修（介助・接客研修）
- ☑ 介護施設との調整・交渉支援
- ☑ 地域交通事業者との調整・交渉支援
- ☑ 各種必要な資格取得に関する支援
- ☑ 人材の掘り起こし支援（アクティブシニア／就業制限のある人材）



共同送迎運行管理システムで

日々の運行をサポート

STEP 1
調査・検討
サポート

STEP 2
運行準備
サポート

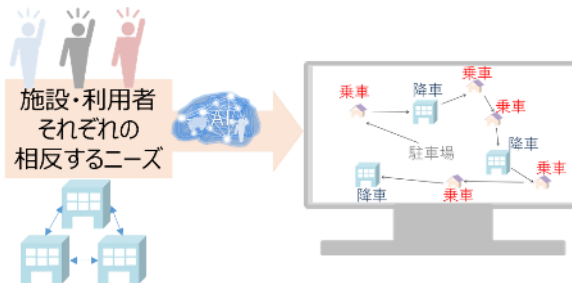
STEP 3
運行
サポート

- ☑ 利用者の制約（時間・条件）を守りつつ、AIが効率の良いルート作成
- ☑ 運行開始後のサービスの拡大、発展に向けた支援



運行前

独自アルゴリズムで
最適運行計画を作成



運行中

複雑な情報連携をサポート





Chapter

06

野洲市の実証実験について

野洲市・地域の方々・福祉施設・ダイハツ工業が一体となり、 地域課題に取り組む

これまでの変遷

- 2022年4月 ゴイッショの全国販売開始
- 2022年6月 野洲市様へゴイッショの情報提供
- 2023年4月 野洲市とダイハツ工業で委託契約締結
- 2023年5月 野洲市内介護施設への調査業務開始
- 2023年9月 野洲市内で実証実験を実施予定 ← 現在ここ

野洲市長施政方針抜粋

【福祉・生活】の分野では、

市民の健康と地域医療を支える新病院建設を、「市の中央」である野洲市総合体育館横東側市有地で進めるための準備工事、測量その他調査業務を行うとともに、本体工事の設計・施工の一括発注に着手します。

高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりに向けて、

市内の通所介護施設が各々で行っている送迎業務の共同化を進めることで、介護職員の負担軽減と人材確保を図るとともに、送迎車両の有効活用により高齢者の移動課題の解決に向けた取り組みにつなげることを目的とした『通所介護施設共同送迎・高齢者移動支援モデル事業』の検討に着手します。令和5年度は、事前調査及び実証実験を行い、その実現可能性について検討いたします。

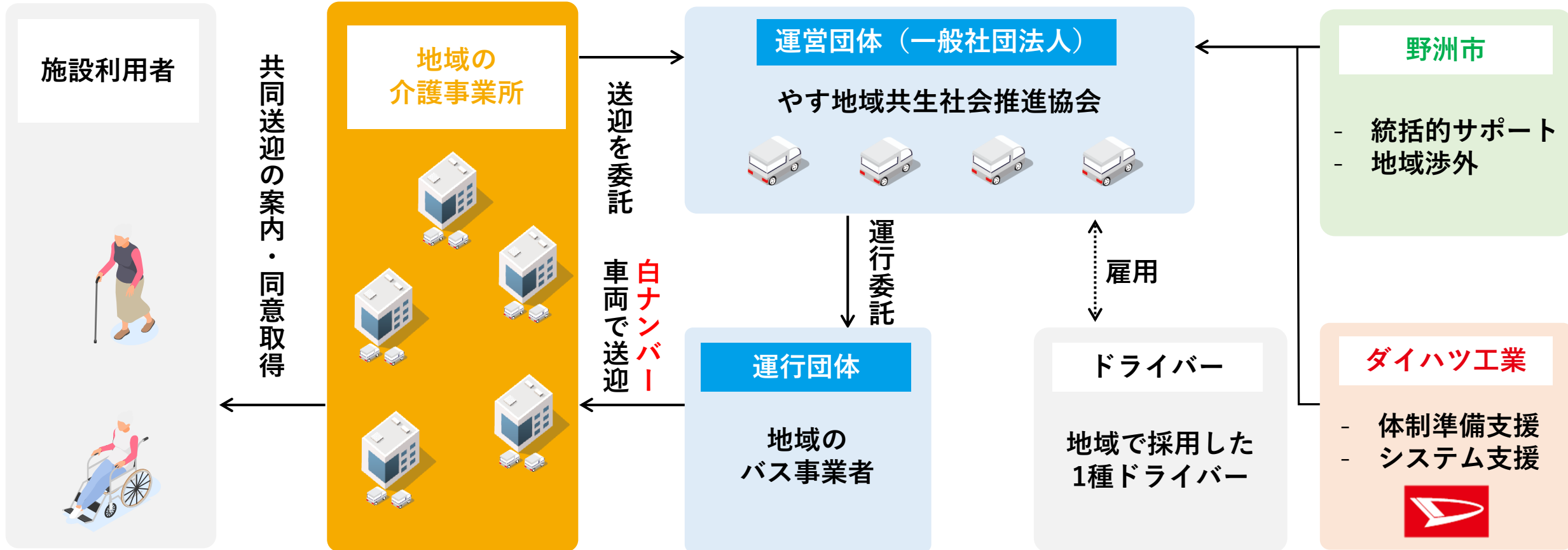
障がい児・者福祉の充実として、

令和5年8月の開所を目指し、新発達支援センター・ふれあい教育相談センターの建築工事を進めます。

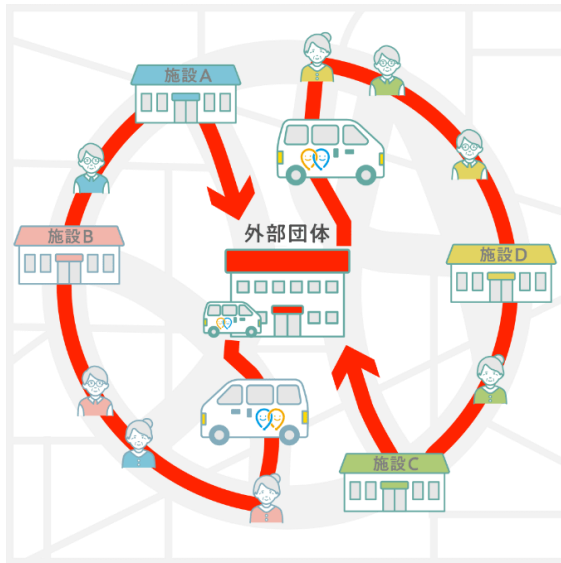
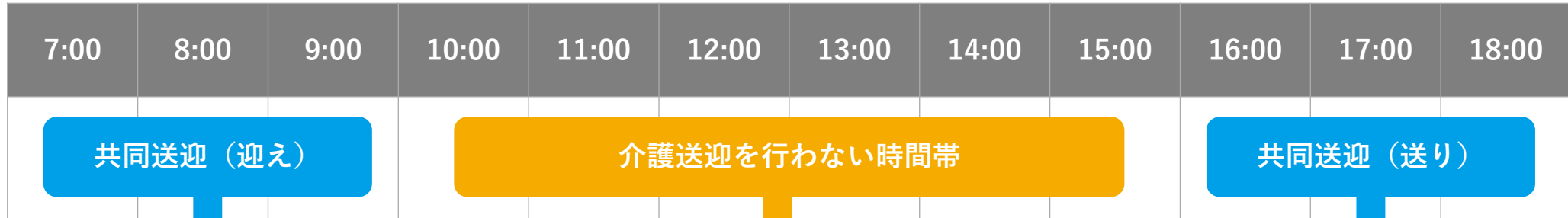
期間：2023年9月20日（水）～2023年11月11日（土）

範囲：野洲市内の通所介護施設4施設にて、送迎業務の共同化

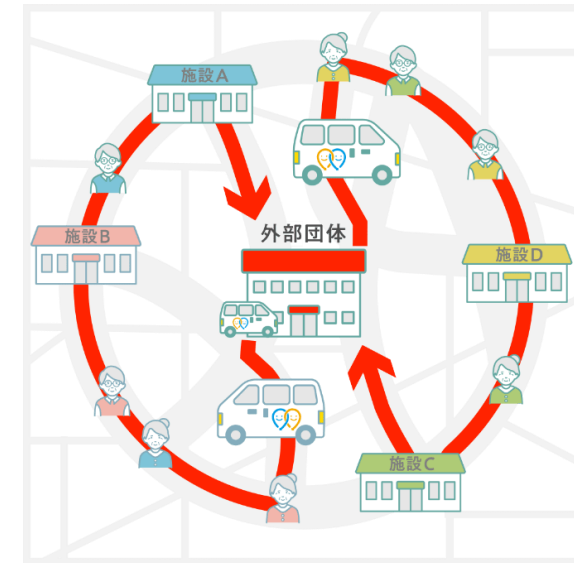
対象：自立でクルマに乗降できる対象施設に通う利用者（日当たり15名程想定）



通所介護施設の送迎と、空き時間を活用した高齢者の移動支援を実施予定



ショッピングモールへの送迎支援
 娯楽施設への送迎支援



Chapter
07

最後に



まずはご相談頂き、一緒に検討させてください！

「ゴイッショ」を検討してみたいな…でも…

地域に対して

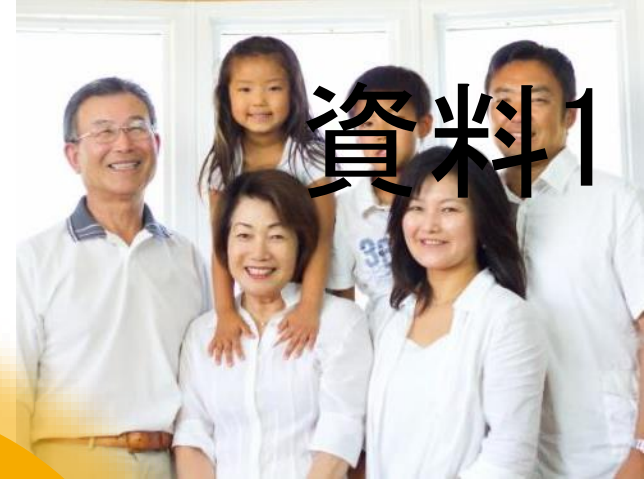
- 介護事業所に本当にニーズがあるのだろうか？
- 地域内の調整や交渉が大変そう？
- 運営団体になってくれるような団体はあるだろうか？



役所・役場の内部に

- 企画や運営に関する予算が組めるだろうか？
- 他の課や部署と連携して取り組めるだろうか？
- 業務がある中で新しい取り組みができるだろうか？





資料1

より質の高い
介護サービス
の実現

目指す姿



自由に
移動のできる
環境づくり



らしく、ともに、軽やかに

Light
you
up



DAIHATSU